

新年賀謹



発行所
11特OB会

連絡先

札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報室
TEL (011)-581-3191
内線2645

印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 各中隊長・最先任上級曹長挨拶
- 四面 年男新年の抱負
- 五面 新婚さん・新生児・新成人
- 六面 11特OB会懇親会等
- 七面 小樽市総合防災訓練風景等
- 八面 特科隊実射検閲・中隊実動検閲等

新年のご挨拶



第十一特科隊長
一等陸佐 高山 将一

明けましておめでとうございます。11特OB会、やまぶき会をはじめとする協力諸団体、そして隊員ご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、第70回さっぽろ雪まつり開催にあたり、大通4丁目会場に大雪像を制作して、過去最多となる総来場者約273万人の来場を記録したほか、8月30日に小樽市総合防災訓練、10月18日には仁木町防災訓練に参加し、災害対応における実効性の向上及び関係自治体等との連携を強化するとともに、地域との密接な協力関係を構築して参りました。

訓練面においては、年度当初から訓練を積み重ね、8月に実施された特科隊実射検閲では特科隊の全隊員が一丸となり、精度・速度ともに練成成果を遺憾なく発揮して、99式自走155ミリりゅう弾砲装備以来の最良の評価を獲得することができました。

また、9月26日、河野防衛大臣による第11旅団部隊等視察に際し、第11音楽隊と共に、儀仗中隊を編成して、士気高く斉一な動作で威容を示し、警衛及び敬意を表して任務を完遂することができました。

これも一重に部隊・隊員を支えて頂いた皆様のお陰だと感謝しているところであります。さて、わが国を取り巻く安全保障環境は厳しさを増し、国内では台風・豪雨による大規模災害が発生し、多くの方が犠牲となりました。

このような時代において、いついかなる時でも任務完遂できるよう引き続き日々の訓練に邁進する所存です。今年も、子年として令和最初の新年となり、「新しい生命が種子の中に萌はし始める」年でもあり、特科隊も新たな気持ちで隊務に励み、さらに躍進する所存であります。

11特OB会をはじめ、関係各位の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



十一特OB会
会長 黒田 則幸

新年あけましておめでとうございます。第11特科隊の皆様、ご家族の皆様、清々しい希望に満ちた新年を迎えられたことを喜び申し上げます。

昨年は隊長をはじめ隊員、ご家族の皆様そしてOB会員の皆様の、ご指導・ご支援をいただき、滞りなくOB会の運営を行うことが出来ました。今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年はラグビーワールドカップが行われ、私も含め、にわかラグビーファンが急増したのではないのでしょうか。日本代表の闘志あふれる戦いに感動された方も多かったことと推察いたします。

また、日本人観光客が対戦チーム双方を分け隔てなく応援する姿は、世界に称賛され、試合後選手が相手チームの選手との健闘を称える姿や、観客席に深々とお辞儀をする姿が印象的でした。

昨年は大きな災害が多発し、特に、台風15号・19号やその後の豪雨により多くの方々が甚大な被害を受け、尊い人命が失われました。このような現代において、災害現場で被災者のために懸命に救助・復旧に当たる隊員の姿は、自分が良ければよいという風潮が多くなった現代において、危険を顧みず他者のため全力を尽くすという、まことに尊いものであると思えます。

時代は変わろうとも陸上自衛隊の本質は不変であり、国民の負託にこたえ、今後益々多様な任務において活躍することが期待されるものと思えます。

隊員の皆様には、日々の訓練に邁進され隊長を核心として一致団結、武力集団の原点を忘れず「強く」そして「謙虚」で真に逞しく精強な部隊へと発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

私共OB会は会勢充実と会員相互の親睦を図りつつ、引き続き隊員の皆様に物心両面での支援・協力を行い、隊の任務達成の一助となるべく活動してまいります。年頭にあたり、第11特科隊の益々のご多幸とご健勝を祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

年頭の挨拶

隊区市町村長
協力諸団体会長



仁木町長
佐藤聖一郎

輝かしい新春を御健勝にて
お迎えることと心からお喜び申し上げます
第十一特科隊の皆様
の益々の御発展と御多幸を
祈念いたします



小樽市長
迫俊哉

謹んで新春のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の皆様にとりまして
本年が素晴らしい年となりますことを
心からお祈り申し上げます



余市町長
齊藤啓輔

輝かしい新春を迎え
第十一特科隊の皆様
の益々の活躍とご多幸を
お祈り申し上げます



積丹町長
松井秀紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の隊員皆様
の一層のご精進と貴隊の益々の
ご活躍をお祈り申し上げます



古平町長
貞村英之

第十一特科隊の皆様
輝かしい新春を迎えられ
益々のご発展とご多幸を
祈念いたします



余市町自衛隊協力会
会長
中山尚志

令和2年の新春を迎え
謹んでお慶び申し上げます
世界の平和のため益々の
ご活躍をご祈念申し上げます



自衛隊小樽協力会
会長
山本信彦

自衛隊 ありがとうございます
ありがとうございます
第十一特科隊



赤井川町長
馬場希

第十一特科隊の皆様
新春を迎えられ
皆様の御発展と御多幸を
祈念いたします



札幌地方隊友会
定山溪支部長
張替正敏

謹んで新春のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の皆様
の益々の活躍とご多幸を
心からお祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
余市支部長
青山由明

謹んで新年のお慶び申し上げます
第十一科隊の皆様と御家族様の
益々の御発展と御多幸を
お祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
小樽支部長
水野政明

新年あけましておめでとうございます
今年も頼もしい隊員の皆様と共に
令和最初の元旦を迎える事が出来
大変嬉しく思います

第11特科隊

中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



本部管理中隊長
1等陸尉 石井 邦明

新年明けましておめでとうございませう。
隊員ご家族の皆様並びに協力諸団体の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年日本を取り巻く安全保障環境がより厳しさを増す中、国内においては記録的な豪雨災害等、更に自衛隊に対する期待が高まっているものと認識しております。

中隊は昨年、班検閲を実施し、着実に訓練練度を向上させ、隊実射訓練検閲及び職種等強化施策(特科)等において、隊の能力を最大限発揮し得る基盤を確立し、中隊の任務を完遂して参りました。

これも隊員ご家族並びに協力諸団体の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

令和という新しい時代を迎え、本年も「更に前へ」を合言葉に、部隊・隊員の精進に邁進するとともに各種事態にも即応し与えられた任務を完遂すべく日々精進して参りますので引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして素晴らしい年でありませうと祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第1中隊長
3等陸佐 工藤 一成

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は、隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

昨年8月、第8代第11中隊長を拝命し、任務に即応して完遂できる中隊を育成すべく教育訓練に取り組みました。3度の実射訓練成訓練、中隊訓練検閲と段階的に能力の向上を図ることができました。

特に8月特科隊実射検閲を受閲し、良好な成果獲得に貢献することができました。

これも隊員ご家族、協力諸団体の皆様、諸先輩方のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も中隊は、「思う」を要望事項とし、隊員一人一人が思考して行動し、相手を思いやり、思い出を残せるように、昨年の成果を活かし皆様のご期待にこたえることができるよう日々精進する所存です。引き続きご理解、ご協力及び応援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年も皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第2中隊長
3等陸佐 千葉 敬

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
隊員御家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様におかれましては、平素から御理解と御支援を賜り誠にありがとうございました。

中隊は、昨年、中隊訓練検閲、隊実射検閲及び総合戦闘射撃訓練等に参加して、多くの成果と教訓を得て着実に練度を向上させるとともに、演習場定期整備に参加して、恒常的な訓練基盤の確立に寄与しました。

特に、隊実射検閲におきましては、隊の基準砲中隊として良好な成果獲得に貢献するとともに、中隊訓練検閲においても、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮して、良好な成果を獲得することができました。

これも、諸先輩の皆様のご御理解と御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も引き続き、昨年の成果及び教訓事項を活かして各種教育訓練及び競技会等に取り組み、更なる飛躍を目指して一層の練度向上並びに、伝統の継承と発展に努めて参ります。

最後に、本年も皆様のご御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結び、本年も皆様にとりまして祈念申し上げますこととさせていただきます。



第3中隊長
3等陸佐 早坂 剛

新年明けましておめでとうございませう。
隊員ご家族、11特OB会、やまぶき会員の方をはじめ協力団体の皆様におかれましては、つがなく令和最初の新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も変わらぬ、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年度は、国内においては各地において大雨による水害が発生し、安全保障環境においては、中国の我国周辺海空域における活動の活発化、北朝鮮の長距離弾道ミサイルの脅威及びロシアの軍事活動の活発化等、厳しい状況が続いております。

この中、中隊は、いついかなる時でも行動できる部隊と隊員を育成するため、刻苦勉励して邁進しております。昨年の成果としまして、中隊検閲(戦術)において優良な成果を獲得することができました。

本年も中隊は、「国」、「郷土」、「家族」を守るため、更に精進な部隊を目指して、中隊一丸となり、練度を向上させ、来る任務に邁進していく所存であります。

結び、本年も皆様にとりまして、良い年となりますこととさせていただきます。



最先任上級曹長
准陸尉 大槻 哲

新年明けましておめでとうございませう。
隊員、ご家族の皆様、協力諸団体の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年3月、第6代第11特科隊最先任上級曹長を拝命し、情熱と愛情溢れる部隊にするべく、日々、准曹士が充実感・達成感を得られるように指導を実施して参りました。

昨年は、様々な目標に対し、隊員一人一人が、自己の任務をよく分析・理解し、黙々と完遂するとともに、准曹士全員が元気で篤実かつ前向きに、教育訓練に取り組み、多大な成果を収める事が出来ました。

本年は、昨年の成果・教訓事項を活かし、隊員と共に情熱と愛情溢れる部隊であり、いついかなる事態にも即応し、任務を完遂できるように、日々精進し、上意下達・下意上達に努め、基礎動作、躰、規律に係る状況把握及び指導を実施し、部隊・隊員の更なる精進に努めて参りますので、引き続き、皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年も皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますこととさせていただきます。

2020年(子)年男さんの抱負



若さ溢れる24歳
(平成8年生まれ)

本部管理中隊

松村3曹



新年あけましておめでとうございます。今年で2度目、社会人として初めての年男を迎えました。

昨年は隊長ドライバーに上番させて頂くとともに、私生活では結婚をする等、公私にわたり大きく環境が変わった年でした。今年には気を緩めることなく、自衛官として、また一家の大黒柱として自覚を持った行動をとりたいと思います。また本厄でもあるので、健康に注意して生活して行きます。今年も宜しくお願ひ致します。

本部管理中隊

井村士長



あけましておめでとうございます。今年で令和も2年目となり新時代に慣れてきたところです。

私は3月で1任期満了をして、退職予定です。新しい職場でも教えて頂いた技術や知識を発揮していきたいと思えます。短い間でしたけど大変お世話になりました。日々努力して早く一人前になりたいと思ひます。

第1中隊

阿部3曹



明けましておめでとうございます。年男という節目を迎え、これまでを振り返ると、先輩、同期、後輩達に支えられ、過ごしてきました。

今年には支える事ができる人になれるよう、より一層頑張っていきたいと思ひます。

第2中隊

小林士長



あけましておめでとうございます。昨年は念願の陸曹候補生に合格し、より一層気が引き締まる思いで一杯です。

第11特科隊の即戦力として、また、第2中隊の伝統を継承していける陸曹を目指します。

次に年男としてですが、子年の特徴である辛抱強く高い適応能力といった良い特徴をよりのばし、全力で物事に取り組みたいと思ひます。

第3中隊

高野3曹



新年明けましておめでとうございます。年月というものは早いもので、18歳から入隊して、約5年が経過してしまいましたが、しかしながらこの自衛隊に入隊してからの5年というものは、とても濃密で価値のある5年間だと思ひます。そしてこれからもより一層 職務に取り組む、頑張っていきたいと思ひます。

第3中隊

里深3曹



新年明けましておめでとうございます。昨年の8月に転属してきたばかりの未熟者ですが、訓練、業務等を着実にこなしていき、第3中隊の更なる精進に貢献していききたいと思ひます。

まだまだ若い36歳
(昭和59年生まれ)

本部管理中隊

大和田2曹



あけましておめでとうございます。気がつけば3回目の年男を迎える事となり、時間の経つ身上を痛感しております。前回は9特で陸士長として、今回は11特で2曹として職場、階級が変わりましたが、いつでも若手としての気概を忘れずに任務に邁進し、11特ONE TEAMの一人として頑張っていきたいと思ひます。

第1中隊

和泉2曹



明けましておめでとうございます。11特に転属して約1年になりました。最初は慣れないことが多かったですが、第1中隊の皆様の親身になった、親切な指導で、中隊の訓練、業務等をしっかりとこなすことが出来ました。今年1年の抱負といたしまして、去年以上に第1中隊に貢献することです。

特に訓練や業務については、任務達成に良い結果が出る様に日々努力して、健康管理や体力管理に気を付けて1年間頑張りたいと思ひます。

第1中隊

緒方3曹



あけましておめでとうございます。1年もあつという間に過ぎてしまいましたが、これまで沢山の方々のご指導、ご協力に感謝しています。今年1年も昨年以上に頑張りたいと思ひます。

第2中隊

下館2曹



新年明けましておめでとうございます。前回の年男の年は、陸曹に昇任した年でもあり、部隊に貢献したいという熱い気持ちで取り組んでいたような気がしますが、(確か)早いもので、あれから12年・・・、後輩隊員も増え、立場も大きく変わりました。節目の年ということもあり、今年はいよいよ一層任務に邁進していきたいと思います。

第3中隊

野田2曹



新年あけましておめでとうございます。年男という節目を迎えましてもう一度気持ちを引き締めて、充実した年にしたと思ひます。そのためにも、日頃の体力練成、健康管理に気を付けて1年間頑張っていきたいと思ひます。

気持ち若い48歳
(昭和47年生まれ)

本部管理中隊

野上2尉



(令和元年12月1日付、幌別駐屯地業務隊へ)

あけましておめでとうございます。4度目の年男という節目の年を迎え、初心を忘れず幹部自衛官として日々精進していきたくと思ひます。12月をもって幌別駐屯地に転属となりましたが、今後も第11特科隊に貢献できるように全力で日々邁進したいと思ひます。これからも宜しくお願ひ致します。

本部管理中隊

小岩曹長



あけましておめでとうございます。入隊以来大きな怪我も無く、ここまで無事に勤めることができたのも、上司、先輩、同僚、後輩等の方々のお陰でありとても感謝しています。新年の抱負を「粉骨砕身」とし、何事にも努力して行こうと思ひますので、今後ともよろしくお願ひ致します。月並みですが若い者には負けません。

本部管理中隊

高橋1曹



新年あけましておめでとうございます。今年で4回目の年男を迎えることになりました。「子年」は再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。また新たな気持ちで頑張っていこうと思ひます。

本部管理中隊

森山1曹



今年で年男も4回目を数え、すっかりおじさんの仲間入りをした今日この頃ではありますが、今年の目標は、「おじさんらしく落ち着きある言動」と「おじさんらしく行動力」を発揮できたらと思ひます。皆さん今年もよろしくお願ひ致します。

本部管理中隊

矢口2曹



新年あけましておめでとうございます。今年にはネズミの年と言われる様にこれからも真面目にコツコツと働いて、より一層貢献出来る様に精進し健康面においても無事定年が出来る様に日々精進して行こうと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。

本部管理中隊

佐々木2曹



明けましておめでとうございます。今年で48歳となり、4回目の年男を迎える事になりました。入隊以来、無事に勤務することが出来るのも上司、先輩、同僚、後輩等の方々のお陰であり感謝しています。新年の抱負を「前進」とし、日々努力していきたくと思ひます。今年も1年宜しくお願ひ致します。

新婚さん・新生児・新成人

幸せいっぱい 新婚さん

本部管理中隊
松村3曹



新年あけましておめでとうございます。昨年2月18日に入籍し、自衛官として夫として自覚を持ち、立場をわきまえ、身を粉にして特科隊に貢献していきます。今後とも、温かい目で見守っていただきたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

第1中隊
阿部3曹



明けましておめでとうございます。昨年2月11日に入籍しました。今年、陸曹として、夫として飛躍の年にしたいと思っています。まだまだ、至らない所もあるかと思いますが、精一杯頑張ります。

目指せイクメン パパさん

本部管理中隊
五十嵐3曹



明けましておめでとうございます。昨年11月11日、第一子となる、男の子が誕生しました。明るい性格に育つて欲しいと想いを込めて、陽向(ひなた)と名付けました。父親として自覚を持ち、勤務に邁進していきます。

第1中隊
石嶋3曹



明けましておめでとうございます。昨年7月31日第一子となる男の子が産まれました。名前は、永煌(えいき)です。家族が増え、父として、より一層勤務に励みたいと思います。今後とも石嶋を宜しくお祈りします。

第1中隊
江原3曹



明けましておめでとうございます。昨年9月11日、第一子侑生(ゆう)が誕生しました。家族も増え、より一層勤務に励もうと思っています。今後とも家族ともども宜しくお祈りします。

第1中隊
能代谷3曹



新年明けましておめでとうございます。昨年8月29日に第一子となる長男が誕生しました。名前は稀一(きいち)と名付けました。これからは、家族3人で頑張っていくと思います。本年も親子ともども宜しくお願い致します。

第1中隊
柏野士長



新年あけましておめでとうございます。昨年9月12日に第一子となる女の子が誕生しました。名前は風花(ふうか)と名付けました。新たな家族が増え、より一層勤務に精励してまいります。

第3中隊
麻山1曹



昨年9月27日に第二子となる次女が誕生しました。名前は柑奈(かんな)と名付けました。新たな家族が増えたという事で喜びを噛みしめつつ、より一層仕事に精進して行きたいと思っています。

第3中隊
中村3曹



新年あけましておめでとうございます。昨年8月26日に第一子の女の子が誕生しました。名前は碧花(あおか)と名付けました。これからは父親として精進してまいります。家族共々よろしくお祈りします。

大人の階段上る 新成人

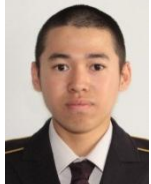
本部管理中隊
奥山士長



新年明けましておめでとうございます。無事に成人を迎える事ができたことに育ててくれた両親、指導してくださった先輩、同僚、友人、出会った全ての方へ感謝を申し上げます。ようやく成人を迎え、大人の仲間入りをする事が出来ました。未成年の頃とは違い自由の幅が広がって、できることが増えた反面、責任も大きく増えました。「自分の言葉に責任を持つ」を新成人の抱負として、自覚ある行動を心掛けたと思っています。

これからは、自衛官として成人として成長できるように頑張っていきますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

第1中隊
坂田士長



新年明けましておめでとうございます。成人を迎えることにより、出来る事が増えると思いますが、その分、責任も増えてくると思うので、そのことを自覚して、立派な大人になりたいと思っています。また、これまでお世話になってきた方々に少しでも恩返しができるように、仕事面でも生活面でも役に立てるように頑張ります。まだまだ、ご迷惑をおかけする事があると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

第1中隊
大坂士長



明けましておめでとうございます。今年、心機一転新たな気持ちを持って頑張りたいと思っています。自分が成人になるにあたり、飲酒・喫煙等未成年では出来なかつた事が出来るようになるなど、自由の範囲が広がります。その反面成人としての責任が大事になります。20歳という節目の年に一歩踏み出し、理想とする大人へ近づけるように努力して行きたいです。

第1中隊
名畑1士



明けましておめでとうございます。自分が成人になるにあたり、先輩方や後輩に頼りにされる隊員になる事を抱負として行動しようと思っています。また、早く陸曹になれるよう、勉強、職務面、訓練面においても気が緩むことがないように、頑張っていこうと思います。まだまだ、わからないこと、できない事があるので、これからもご指導のほど、よろしくお祈り致します。

第2中隊
石田1士



新年明けましておめでとうございます。私の新成人としての抱負は、自立ある行動をとり、先輩方に必要とされる隊員になることです。今までは、言われた事をただやるだけでした。しかし、それだけでは、成長して行けないと思います。言われた事以上の事まで、考えて行動できる隊員が自分の中で必要とされると思います。なので、日常から意識して行動して行きたいと思えます。未熟者ですが、立派な自衛官となるために、努力を忘れず、日々前進していきたいと思っています。

第3中隊
佐藤士長



新年明けましておめでとうございます。自分は、成人を迎えますが、まだまだ大人としては半人前です。日々の行動に責任を持ち、謙虚な姿勢で頑張つて、信頼される大人になりたいと思います。また、ここまで育ててくれた両親や上司に感謝し、恩返しの気持ちを忘れる事無く、社会人として行動して行きたいです。

一月昇任者紹介

一等陸尉へ
井ノ上 智史(本部管理中隊)

一等陸曹へ
伊藤 正明(本部管理中隊)
外柳 和麻(第二中隊)

二等陸曹へ
赤坂 光(本部管理中隊)

三等陸曹へ
高橋 彩織(本部管理中隊)
伊藤 正和(第一中隊)
露木 竜也(第二中隊)
山上 太駆(第三中隊)

皆さん
おめでとうございます。
ごぞいます。



11特OB会懇親会

令和元年11月16日、札幌市内のホテルにおいて、令和元年度11特OB会(会長 黒田氏)懇親会が行われた。

懇親会には、OB会員のほか、現第11特科隊所属の隊員も含め約50名が集まり、叙勲受章者、古希や喜寿を迎えられた方に対して記念品の贈呈等が行われた。

各テーブルでは、第11特科隊の近況や第11特科連隊時代の話題などで大いに盛り上がり、懇親会の終わりにには全員で第11特科隊歌を熱唱し、盛会のうちに懇親会を終えた。

叙勲受章・古希・喜寿の紹介

- ☆ 叙勲受章者(瑞宝単光章) 菊池 芳彦 様
- ☆ 古希(70歳) 本間 豊治 様
松永 幸信 様
- ☆ 喜寿(77歳) 西澤 貞夫 様
吉田 正義 様

参加した現役隊員及び11特OB会会員



令和元年度 防災懇談会

隊は、令和元年8月20日、真駒内駐屯地において、令和元年度防災懇談会を行った。

本懇談会は、特科隊の災害派遣等担任各市町村(小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村)の防災担当者、防災に係る現状及び問題点について情報を共有して、各市町村との連携強化を図るとともに、災害派遣計画の実効性の向上を目的に行った。

前年に引き続き、海上自衛隊余市防備隊司令(以下3名の参加を得て、余市防備隊の災害対処に係る取り組みを紹介してもらう等、相互の理解及び連携の強化を図った。

また、各中隊が担当する関係市町村の防災担当者、防災に関する活発な意見交換が行われたほか、各市町村の魅力等について紹介を頂くことが出来た。

講話を行う特科隊長



令和元年度 特科隊年末行事

隊は、令和元年12月20日、真駒内駐屯地西体育館において、令和元年度特科隊年末行事を行った。

本行事は、部隊の団結の強化及び士気の高揚を図るとともに、一年の労をねぎらい、協力団体の自衛隊に対する理解を促進するとともに、隊員家族との信頼関係の醸成を図る目的に行われた。

行事には、隊員家族、11特OB会員のほか、真駒内駐屯地司令(永田1佐)、やまぶき会副会長兼幹事長(大川様)、自衛隊家族会北後志地区協議会会長(武市様)、自衛隊家族会理事兼小樽支部支部長(水野様)、自衛隊家族会余市支部支部長(青山様)をお招きして、餅つきや各中隊の余興並びに曹友会主催の抽選会等を行い、大いに盛り上がった。

また、先日行われた、隊武道競技会における表彰式及び日頃、特科隊がお世話になっている、11特OB会代表幹事(鯉江様)、やまぶき会会員(滝野様、堀内様)、日本舞踊藤間流師範(藤森様)の4名(堀内様・藤森様は都合により欠席)へ隊長感謝状が贈呈された。

行事の終わりには、隊最先任上級曹長による3本締めを行い、隊の一年を締めくくった。

隊最先任上級曹長による3本締め



▲優勝した第3中隊

▲感謝状の贈呈

令和元年度 小樽市総合防災訓練

隊は、令和元年8月30日、小樽市厩（うまや）岸壁において行なわれた令和元年度小樽市総合防災訓練に参加した。

本訓練は、災害発生時の各関係機関との協力態勢の強化及び市民の防災意識高揚に寄与する目的で行われ、第11特科隊を始め、警察、消防、海上保安部等の33機関合計、297名が参加した。

訓練内容は、「北海道留萌沖を震源とする推定マグニチュード7.8の地震発生により、小樽市において、震度6が観測された。」の想定の下、小樽市が、自衛隊等と協力して、土砂崩れに巻き込まれたバスの乗員・乗客を救助するものであった。当初、車両進入が困難な地域へ自衛隊の偵察用オートバイを使用して、細部状況を確認したのち、土砂の排除を行い、発見されたバスから、人命救助システム（油圧カッター等）を使用して、負傷者の救助を行った。



負傷者を救護する隊員

令和元年度 仁木町防災訓練

隊は、令和元年10月18日、仁木町が計画する仁木町防災訓練に参加した。本訓練は、仁木町との防災に関する連携の強化を図るとともに、仁木町における災害対処計画の実効性の向上及び町民の防災意識の高揚を目的として、第2中隊長（千葉3佐）以下10名により住民避難訓練における人員輸送及び装備品の展示を行った。

住民避難訓練においては、「大雨による余市川の氾濫」の想定の下、町の災害警戒本部と連携して、仁木町北町地区及び西町地区の住民を自衛隊車両によって迅速かつ安全に避難場所へ輸送した。

装備品展示では、訓練参加者に対して生活支援関連装備品（天幕・野外炊具等）、災害救助装備品（人命救助システム等）及び車両（小型トラック及び大型トラック）を展示するとともに、その性能等を説明した。



小型トラックによる人員輸送

第45回 仁木町うまいもんじゃ祭り

隊は、令和元年10月6日、仁木町で行われた「第45回仁木町うまいもんじゃ祭り」を支援した。

本イベントは、町民相互の融和と仁木町特有の郷土色豊かな町づくりを精励することを目的とした、仁木町における秋のビッグイベントであり、果物の無料配布、特産物の販売各種ゲーム、郷土芸能等の様々な催し物が行われ、約6000名が来場した。

隊は、来場者に対して広報グッズを配布するとともに、自衛隊入隊適齢者には、積極的に募集広報活動を行うほか、第11音楽隊の音楽演奏等により、自衛隊に対する理解の促進と信頼感の醸成を図ることができた。



第11音楽隊による音楽演奏



積極的に広報活動する隊員

小樽アニメパーティー 2019 装備品展示

隊は、令和元年9月7日及び8日の両日、小樽市で開催された「小樽アニメパーティー2019」において札幌地方協力本部と協力して、装備品展示等の広報活動を行った。

小樽アニメパーティーは、地域の活性化を図る目的に、小樽市内中心部の商店街（サンモール一番街）において、道内外からコスプレをしたアニメファンが集うイベントであり、人気キャラクターのコスプレをした若者達が多数来場して、会場を盛り上げた。

特科隊は、その一角の自衛隊ブースにおいて、札幌地方協力本部による募集広報の支援として、装備品展示（1/2トトラック、偵察用オートバイ）を行い、来場者の自衛隊に対する理解を深めるとともに募集協力関係の強化を図った。

自衛隊ブースでは、迷彩服や制服の試着も行われ、来場者は、普段着る事のない迷彩服や制服を着用したり、記念撮影をして楽しんでいました。また、自衛隊入隊適齢者に対しては、自衛隊の制度や魅力等の紹介をするなど、積極的に広報活動を行った。来場者からは「こんなに近くで装備品を見ることができて感激しました。」との声も聞かれ、自衛隊への関心を高めることができた。



札幌地方協力本部と協力しての募集広報

令和元年度 特科隊実射検閲

隊は、令和元年8月30日、矢白別演習場において、令和元年度特科隊実射検閲を受閲した。

本実射検閲は、実射の精度及び速度について部隊の評価を受けるものであり、隊長要望事項「全弾命中」のもと、特科隊全隊員が一丸となり検閲に臨んだ。

これまで、3度の実射訓練成訓練を行い、今年度から運用を開始したFADAC（野戦特科射撃指揮統制装置）の戦力化を進めるとともに、射撃審査、非実射連携訓練、観測訓練等様々な訓練を重ね、今年度最大の目標である射撃精度・速度100%に向け、様々な工夫と努力のもと、これ以上にならないほど練度が高まった。検閲間は、火砲の不具合等による不発射もなく、整齊円滑な射撃を実施して、旅団の火力戦闘部隊としての実力を十二分に発揮した。これは、日頃の訓練の積み重ねと隊員が心を1つにして、検閲に臨んだ成果であり、全隊員が誇りを胸に検閲を終え、任務を完遂した。

▲特科隊全隊員の想いを込めた実射射撃



令和元年度 第2中隊実動訓練検閲

隊は、令和元年7月9日から12日までの間、北海道大演習場（島松地区）において、第2中隊実動訓練検閲を行った。

本検閲は、受閲中隊の訓練成果を評価するとともに、その進歩向上を促す事を目的として、防衛を実施する、第18普通科連隊に直接的に協力する射撃中隊として、戦況の推移に基づき状況判断、決心及び指揮を、防衛準備から火力戦闘まで一連の行動をもって検した。

第2中隊長は、9日から11日までの間、綿密な作業行程に基づき、齊々とした築城により、防衛準備を概成させ、11日午後からは、火砲の広域分散と頻繁な小移動及び堅固な築城の併用により、健在性を保持するとともに、第一線部隊の状況に即応した火力調整を行い、情報、火力及び機動を連携させ、戦闘の終始にわたり火力戦闘を行った。

検閲間は、寒暖差が激しく、厳しい環境下であったが、中隊長（千葉3佐）を核心として、これまでの練成成果を遺憾なく発揮して、与えられた任務を完遂した。

▲第2中隊長による命令下達



令和元年度 第3中隊実動訓練検閲

隊は、令和元年10月8日から10日までの間、北海道大演習場（千歳・恵庭地区）において、第3中隊実動訓練検閲を行った。

本検閲は、受閲中隊の訓練成果を評価するとともに、その進歩向上を促す事を目的として、普通科連隊に直接的に協力する射撃中隊の戦況の推移に基づき状況判断、決心及び指揮を、敵警戒部隊の駆逐から敵第一線陣地に対する攻撃までの一連の行動をもって検した。

第3中隊長（早坂3佐）は、「柔軟性を発揮し任務を遂行せよ」「生き残り撃破せよ」を要望事項として、中隊一丸となり陣地攻撃における射撃中隊の行動について、状況の変化に即応できるよう綿密に計画を策定し、状況の推移に応じて火力の統制及び調整を行うとともに、火砲の広域分散及び頻繁な小移動により、健在性の保持に努め、継続的かつ積極・主動の火力発揮を実施した。

検閲には、9月18日に配属された新隊員も参加をしていたが、寒暖差の激しい環境に負けることなく若さで乗り越えた。当初から冷たい雨が降る苦境での検閲となったが、第3中隊長を核心として、これまでの練成成果を遺憾なく発揮して、与えられた任務を完遂した。

▲激しい雨の中での陣地変換



河野防衛大臣部隊等 視察に伴う儀じょう

隊は、令和元年9月26日、真駒内駐屯地において、河野防衛大臣部隊等視察に伴う儀じょうを担任実施した。

本儀じょう隊は、儀じょう中隊長（第1中隊長工藤3佐）以下119名（第11音楽隊を含む。）によって編成し、来駐された河野防衛大臣に對して、榮譽礼を行うとともに、巡閲を受けた。

隊は、中隊儀じょうを行うのは初めてであったが、第120地区警務隊の支援を受け、儀じょう練成を重ね、特科隊一丸となつて準備を万全にして、本番に臨んだ。

儀じょう実施間、隊員の士気は高く、姿勢の保持・齊一な動作・鋭い眼光により威容を示し、河野防衛大臣に對する警衛及び敬意を表して、無事任務を終えた。

▲河野防衛大臣による巡閲



OB等への連絡とお願い等

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更
新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行っていきます。

電話〇一一一五八一―三一九一
（内線二六四七） 担当 嶋田

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなり、万が一ご本人が亡くなられた場合には、死亡日を含め五日以内に最寄りの地方協力本部、第11特科隊へ連絡することをご家族共々くれぐれもお忘れの無いようお願いいたします。

三 その他

第11特科隊隊舎一階には、第11特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室がございます。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
（内線二六四五） 担当 吉田